

年頭に当たって



後援会会長
渡邊 秀雄
(拓馬/国際文化学部)

明けましておめでとございます。2013年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

法政大学後援会は大学と学生を支援する組織として、保護者の自発的な意志により生まれ、その活動目的は「大学の教育方針に則り、大学と学生家庭の連絡を緊密にして教育事業を援助し、あわせて会員相互の親睦を図る」事にあります。

後援会では、大学の協力を得て、父母懇談会の開催や各種学生団体への応援および支援を行うとともに、広報活動に力を入れて、親しみやすい活動心がけています。

昨年の秋には、野球部が東京六大学野球で7季ぶりの優勝を果たしました。

また、陸上競技部も箱根駅伝の予選会を突破し、3年ぶりの本選出場を果たしています。

法政大学がスポーツに対し、以前に

まして注力をしたことにより再び開花してきたのだと思います。

選手と共に、大学関係者や保護者も、大変盛り上がりうれしい限りです。

しかしながら、学生の就職環境は、依然として厳しいものがあります。今年度は若干改善したとはいっても、日本経済は景気後退期に入ったとも認識される状況下であり、引き続き難しい環境が続くものと思われれます。

法政大学の建学の精神は、「自由と進歩」であり、それは学生自らが目的を持ち、かつ行動することでもあります。法政大学で身に付けた力は、必ずや社会に役立つものと確信しております。

法政大学には、素晴らしい教育研究施設がいくつもありますが、後援会においても、学生同士が協力し、互いに高め合う一助とすべく、ピア・サポートやラーニングコモンズなどに支援しています。

今後とも、後援会活動へのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆さまにとりましても実り多き年となる事を願っております。

総長・学内理事と後援会運営委員との懇談会報告



後援会副会長
植草 茂伸
(直人/情報科学部)

11月28日(水)にアルカディア市ヶ谷にて、総長・学内理事と後援会運営委員との懇談会が開催されました。

大学からは増田総長はじめ常務理事・理事の方々など8人、後援会からは渡邊会長ほか運営委員12人と事務局長が出席しました。この懇談会は、大学・学生の現在の状況や今後に関する意見交換を行うために毎年開催しています。

後援会からは、ピア・サポート活動、教職課程センターの状況などについてお聞きしました。ピア・サポートについては、現在も非常に多くの学生が積極的に参加しており大きな成果を上げている状況であるとの説明がありました。今年度に発足した教職課程センターについては、各キャンパスで相談員が教職を目指す学生の相談を受けたり、試験対策講座も行って、今後その効果が期待できるとのことです。

一部の組織的業務妨害を繰り返す学外団体に対しては適切に対応しており、平穏な学園

環境の維持に努めている旨の説明がありました。

さらに、後援会として大きな期待をしている学生スポーツの今後の展望もお伺いしました。今年度は、東京六大学野球の秋季リーグ優勝、箱根駅伝本大会への出場、アメリカカンファレンス選手権の甲子園ポウル出場など、素晴らしい活躍がありました。また、良い結果を残した他の部の紹介もありました。今年度だけでなく今後も良い結果を出せるように、選手のスカウト・指導者の充実、また選手の食事・寮の改善などにも取り組んでいきたいとのことでした。

また、大学からは文部科学省のグローバル人材育成推進事業(タイプB・特色型)に採択されたことにより、大学のグローバル化をさらに進めていく方針であり、そのために交換留学生を増やしたり、学生の語学力向上に取り組んでいくという説明がありました。

その他、法政のブランド力を向上させるための戦略、多摩キャンパスの通学パスの問題、市ヶ谷キャンパスの55・58年館の建て替え問題などについても意見交換させていただきました。有意義な懇談会となりました。

写真で見る後援会 (2012年4月~11月)



4月21日(土)
野球観戦/明治神宮球場



5月12日(土)
幹事会/外濠校舎



5月19日(土)
本部新役員予定者キャンパス見学/小金井キャンパス



6月2日(土)
支部長会議/外濠校舎



6月2日(土)
総会/薩垂ホール



6月23日(土)
役員研修会/日本出版クラブ会館



7月22日(日)
茨城県支部総会・父母懇談会/水戸京成ホテル



10月4日(木)
常任参与・参与と運営委員懇談会/外濠校舎



10月14日(日)
首都圏父母懇談会/小金井キャンパス



11月9日(金)
支部長懇談会/スカイホール



11月10日(土)
支部長会議/外濠校舎



11月23日(金)
野球部優勝祝賀会/薩垂ホール

体育会応援18

【重量挙げ部】

「親からのメッセージ」



柴田 幸也 (幸大/文学部)

3年前、息子は高校の卒業式を終えるとすぐに全日本ジュニアに出場し、そのまま法政大学重量挙げ部学生寮へ入った。別れを惜しむ間もない。1カ月後の4月、大学入学式出席のため、始発電車に乗り、飯田橋駅に降り立った私と妻を迎えてくれたのは、重量挙げ部の先輩方に連れられた新入生の息子たちだった。詰め襟の学生たちがざらりと並んだ中に、髪もさっぱりとし、凛とした息子の姿を見つけ感動したものだ。

幼い頃の息子は、水泳、空手、ハンドボールと何でもやりたがりの活発な子だった。小学5年生からは、私の仕事の関係でシンガポール日本人学校に3年間在籍した。現地で盛んだったソフトボールや野球のチームに所属しながら水泳と空手を続け、どれも大会で金メダルを取るなどスポーツに親しんでいた。帰国し、またハンドボールを始め、中学県大会でも活躍、高校へ行っても続けるつもりでいた。

ウエイトリフティングとの出会いは、山梨県立日川高校への入学から始まる。初登校の日、ウエイトリフティング部に入部予定の親友と冷やかし半分で見学に行つたであろう息子は、家に帰って来るなり「ウエイトリフティング部に入るから!」と私たちに告げた。当初、息子の味方は私だけだった。妻は、「なぜハンドボールを続けないのか」「ウエイトの何が楽しいのか」と嘆いたが、息子は耳をかさなかつた。すっかりウエイトリフティングに魅了され、日々練習を重ねた。競技の上での緻密な計算や、かけひきの難しさ、努力すれば成果が出てくる楽しさを私たちに話して聞かせた。顧問の先生方との出会いも大きかった。4度の全国制覇を成し遂げた日川高校ウエイトリフティング部OBであり、法政大学重量挙げ部OBでもある武井多志先生、そして高校3年生からは岡部伸二先生のご指導のもと、息子は体重を20キログラム増やし、筋力もつけた。幸いにも高校3年生の夏は、奈良でのインターハイに出場を決めた。結果はスナッチで6位入賞がやっとだったが、息子にとってはもっと上を目指したい、大学で競技を続けたいとい

う思いを強くした瞬間だったと思う。優勝回数が最多16回の法政大学重量挙げ部に入部し、素晴らしい指導者にまた出会うことができた。しかし、小平紀生総監督、平良朝順監督の期待にはまだまだ沿うことができずにいるようだ。昨夏の、法政OGである三宅宏実選手(2008年キャリアデザイン学部卒)のオリンピックでの活躍は励みになったはずだが、息子にとってはまだまだ忍耐と精進の日々の思いを強くした瞬間だったと思う。

う思いを強くした瞬間だったと思う。優勝回数が最多16回の法政大学重量挙げ部に入部し、素晴らしい指導者にまた出会うことができた。しかし、小平紀生総監督、平良朝順監督の期待にはまだまだ沿うことができずにいるようだ。昨夏の、法政OGである三宅宏実選手(2008年キャリアデザイン学部卒)のオリンピックでの活躍は励みになったはずだが、息子にとってはまだまだ忍耐と精進の日々の思いを強くした瞬間だったと思う。



インターハイ6位入賞(奈良県)

ようである。それでも、体育会の規律ある生活の中から、だいぶ人として成長したと感じる。この先、学業、競技生活の中にあつても、人としての基本を持つことを忘れずに成長していつてもらいたい。いつまでも変わることなく、本質的なものを決して失わない意気をもって過ごしてもらいたいと願っている。そして、自分の目指すところを、その重いバーベルにのせて高くかけて欲しい。



法政大学入学式

徳島県支部 キャンパス見学



徳島県支部長 加林 浩 (業友会/人間環境学部 哲/国際文化学部)

徳島県支部では10月20日(土)・21日(日)にキャンパス見学会&東京六大学野球応援を実施しました。当支部は最も規模の小さい支部ですが、夏の「阿波踊り」をはじめ会員の親睦をはかる場も多く、この行事も3年連続となります。今回は、支部総会の際に刈谷春郎スポーツ健康学部長からいろいろと話を聞いた事もあり、昨年までの市ヶ谷ではなく多摩キャンパスを選びました。広大な自然を背景に4つの学部が配置されており、その中の大学のバスで巡回しながら案内していただきました。日本有数のアスリー



トも使用している体育施設や図書館など、整った設備で学べる学生たちは本当に恵まれていると感じました。

翌日の東京六大学野球応援では、7季ぶりの優勝がかかった一戦ということ、一回の攻撃からいきなり立ちつばなしの応援歌の合唱となりました。支部会員の中には3年連続で野球応援に参加し、本部の方に負けず劣らずの応援をする方もいました。結果は先制されたものの見事逆転勝利し、試合後のスタンドはオレンジ色の紙テープで法政カラーに染まりました。前日は箱根駅伝予選会通過のニュースもあり、これ以上ない盛り上がりで、参加者みんなで大喜びしています。最後になりましたが、計画時のアドバイスや、連日のご案内をいただきました後援会本部役員の皆さま・事務局の皆さまには大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

東京六大学野球

秋季リーグ戦優勝祝勝会の報告



後援会副会長 水智 智美 (康博/経営学部)

11月23日(金)、市ヶ谷キャンパス薩摩ホールにて、2012年度東京六大学野球秋季リーグ戦優勝祝勝会が行われました。雨によりパレードは中止となりましたが、祝勝会の会場には、多くの参加者がお祝いに駆けつけました。

増田壽男総長から、7季ぶりリーグ戦最多の44回目の優勝を成し遂げた野球部をたたえる祝辞をいただきました。続いて、渡邊秀雄後援会会長、桑野秀光校友連合会会長より祝辞が贈られました。佐藤典人野球部部長の報告後、金光興二監督から、来年の日本一宣言があり、選手の紹介が行われました。クラッカーを高らかに鳴らした乾杯の後、応援団の力強い演奏に明治神宮球場の熱戦がよみがえるようでした。最後は参加者全員が肩を組み、校歌斉唱で会は締めくくられました。



後援会ホームページのご案内

URL : <http://www.hosei-koenkai.org/>

また、法政大学のホームページを開いていただき、オレンジのインデックスの「保護者の方へ」をクリックしていただいてもアクセスできます。是非一度ご覧になってみてください。



「携帯メール情報」の配信案内

法政大学後援会は、メールマガジンを発行しています。六大学野球、アメフト甲子園ボウルや箱根駅伝などのスポーツ情報、講演会などイベント情報を提供しています。一人一人の力は小さくても、一致団結して盛り上げて行きましょう。配信ご希望の方は、下記アドレスへ「メールマガジン配信希望」とお書きになり、登録されるメールアドレスをお送りください。

koenkai-reg@ml.hosei.ac.jp

